

東日本大震災・連盟災害対策本部ニュースレター

= 祈りのきずな =

4月26日現在までの震災に関するニュースです。連盟の災害対策に関する情報は、連盟ホームページにて日々更新しています。

<http://www.bapren.jp/>

■ 支援活動の展開

震災から1ヶ月、第一期「命を支える救援」から、

第二期「長引く避難生活の支援」へと移行しています。

石巻市から東へ10数kmの牡鹿半島にある2つの避難所

で、4月16日(土)より炊き出しを始めました。牡鹿

半島はその昔、バプテストの宣教師が上陸して東北伝

道をはじめた港がある所です。

大きな津波被害を受けた漁村

は、まだまだ生活の復興へのきざ

しが見えず、厳しい避難所生活が

続いています。片付けのボランティアにも来てもらえたありがとうございます

との言葉もいただいています。

で、それらのボランティア派遣に

向けて、準備と調整を行っていきたいと思います。



▲北関東連合の協力で行われた宮城県石巻市での炊き出し

■これまでの支援活動

震災後、災害対策本部による支援活動（北関東・東京地方連合との協働）を一覧にしました（下右欄の一覧表参照）。祈りを込めて支援物資をお送りください

た皆様に感謝を申し上げます。この他に、被災地の教会による取り組み、北海道連合や連盟諸教会による取り組みがそれぞれに展開されています。

■被災建物診断の実施

4月21日と23日、被災のダメージの大きかった福島旭町、郡山コスモス通り、

日立の3教会の建物診断を行いました。連休明けには、他の教会・伝道所を順に回る予定です。



▲福島旭町教会の建物診断。
教会協のブロック塀が倒壊

■募金へのご協力感謝

皆様のご協力を感謝いたします。4月22日現在、募金総額は4639万円。そのうち海外からの献金が約3分の1で（1672万円）、世界のバプテストの兄弟姉妹たちが大きな関心を寄せて篤い祈りをささげてくださっていることを感謝します。英語版のニュースレター（電子版）をこれまで5回発信し、有志による独語、ハングル、中国語版も次々誕生して世界に発信されています。

（災害対策副本部長・連盟常務理事
加藤誠）

コラム

南光台教会に派遣されて

震災後、地域の避難者を受け入れていた南光台教会の働きを支える「人」を交替で派遣してきました。そのお一人、蛭川潤子さん（洋光台教会）の証の言葉です。

教会に集う方々から、たくさんのお礼の言葉を頂きました。「震災後、次々と連盟から皆さまが駆けつけてくださいました。その事を通して、神様は私たちを見捨てることはなさらない。変わらぬ愛と励ましを与えてくださる」と確信できた、だからこれからも歩んでいく」との言葉。「自分たちは今、マルコ2章にある中風の人なのだ。動けないでいるけれど、私たちのマットを持って運んでくれる人たちがいる。それだから私たちはみ言葉に出会うことができる。なんという感謝か」と涙を流して語って下さった方。その信仰に触れ、私もまた運ばれている一人である事を知られました。

私は、支援するという立場でいきましたけれど、被災地の受けられた傷のあまりの深さに打ちのめされる思いでした。みなさまの置かれた状況と、私の状況のあまりのギャップ、その痛み、涙の、あまりのギャップに断絶させられた思いでした。でも神様は「それでいい」と語り続けてくださいました。同じ涙は流せなくても、同じ痛みではなくても「共に主を見上げればいい」それが恐れを乗り越えさせる力になる、そのことを語ってくださいました。派遣の9日間は共に歩まれる主の語りかけを聞く日々でした。連盟の支援として、「共に」の姿勢をくずさず、主の憐れみの中で「共に聞き、共に歩み続ける」その道が備えられている事を感謝し、これからも歩ませて頂きたいと思います。

■祈りの課題

- 震災で大切な家族、仕事、土地を失い、悲しみの中に立ち尽くし、じっと耐えている一人ひとりに、復活の主の傷跡からあふれ出る慰めと癒し、希望が備えられるように。
- 主の語りかけにまず「聴き」、キリストのからだである教会にふさわしい奉仕を「ささげて」いくことができるよう。
- 原子力発電所の放射能飛散の事故が一刻も早く収束に向かうように。

【支援物資輸送一覧】

具体的な行き先は、(A) (B) (C) の記号で分けて示しました。

- (A) バプテスト連盟教会・伝道所
- (B) 他教派の教会（同盟、教団等）
- (C) A, B以外の避難所（小学校等）

3月 16日 仙台市若葉区 (C), 泉区 (A)

19日 宮城県登米市 (B), 石巻市 (A) (B) (C) 4箇所、福島県郡山市 (A)

21日 仙台市泉区 (A), 石巻市 (B) (C)

24日 仙台市若葉区 (A)、福島県いわき市 (B)

25日 仙台市若葉区 (A)

26日 仙台市若葉区 (A), 泉区 (A)、茨城県東海村 (A)

28日 石巻市 (C)

29日 石巻市 (C)

4月 1日 石巻市 (C), 登米市 (B)

2日 いわき市 (B)、登米市 (B)

4日 岩手県釜石市 (C), 大槌町 (C)

5日 岩手県盛岡市 (A), 岩手県大船渡市 (C)

7日 登米市 (B), 石巻市 (C)

8日 仙台市若葉区 (A), 仙台市泉区 (A)

9日 石巻市 (C), 仙台市泉区 (A)

11日 盛岡市 (A), 大槌町 (C)

15日 石巻市 (C), 大船渡市 (C)

18日 仙台市泉区 (B), 石巻市 (C)、盛岡市 (A)

- 主な輸送物資●
ガソリン、ガソリンランタン、灯油、ストーブ、電気ストーブ、懐中電灯、電池、布団セット、発電機、エアベッド、水、おむつ、カセットコンロ、洗車用ブラシ、医薬品、カイロ、マスク、タオル、衣服、靴、学用品、食料品、粉ミルクなど

【炊き出し】

4月 16日 石巻市 (C) 2箇所

23日 石巻市 (C) 2箇所

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】 目標総額5000万円 [期限: 2012年3月末まで]

送金先: 郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※「東日本大震災募金」と明記してください（「東北地方太平洋沖地震募金」「東北関東大震災」でも結構です）。

※募金は極力教会単位でご送金ください。海外からの募金は別口座です。総務部までお問い合わせください。

募金の使途の目安は次の通りです*

- | | |
|-------------------------|--------|
| ①被災教会・教員へのお見舞い／教会建物支援… | 1500万円 |
| ②被災地支援… | 2500万円 |
| ③現地スタッフ／ボランティア活動費、事務局費… | 1000万円 |

※募金の使途につきましては『バプテスト』誌5月号8ページ（4月13日発行）掲載の内容から最新のものに修正されています。



震災募金ポスターは、連盟ホームページから印刷できます。